



「しんしんと 寒さがたのし 歩みゆく」

星野立子

「寒さ」とは本来つらいものですが、それを「楽しい」と捉えた作者の前向きな姿勢が感じられる句です。みなさん、寒さに負けずがんばりましょう。

通知表の見方



2学期ももう少しで終わり、冬休みに入ります。これからクリスマスや正月など大きな行事があります。みなさんも子ども時代を思い出してみてください。冬休みを迎える前は、何か心が落ち着かなかったのではないのでしょうか。今の子どもたちも同じです。冬休みを前にワクワクしていることでしょうか。子どもにとって、楽しみにしている冬休み前の気になることは通知表です。

これから学校では、保護者懇談が行われ、担任の先生から通知表をもらえることでしょう。通知表を見て、「こんな成績をとって。だから勉強をしなさい」といつも言っているじゃない」と言っておられませんか？そのような言い方では子どもは3学期から頑張ろうという気持ちにはなりません。おそらく、みなさんも子ども時代にお父さん、お母さんからそのような言い方をされていい気持ちになった方はおられないのではないのでしょうか。そこで通知表を見ながら親子で一緒に2学期の反省をしてみませんか。

通知表には、子どもの学校生活の様子を総合的にみることができるよう、次のような項目について記載されています。

【学習の記録】・【総合的な学習の時間の記録】・【行動の記録】・【特別活動の記録】
【出欠の記録】・【通信欄】 等

保護者のみなさんは、一番はじめにどの項目を見られるのでしょうか？教科の評価が記載されている「学習の記録」を見る方が多いのではないのでしょうか。もちろん「学習の記録」も大切なものですが他のどの項目も大切なものです。「学習の記録」だけを取り上げて話をするのではなく、「出欠の記録欄」の欠席日数が少ないとか、「行動の記録欄」にいいことが記載してあったら褒めてあげましょう。

全ての項目を総合的に見て、子どもに話をしてやってください。大切なことは、成長を認めてやることです。そして全体を見て、課題があればその課題をどのようにして3学期から解決していくのか話し合ってみてください。そうすれば、子どもも「3学期から頑張るぞー」という意欲がわいてくるのではないのでしょうか。

冬休みは、子どもにとって自由になる時間がたくさんあります。このことは、子どもにとって、主体的に時間を使う訓練になるという良いこともあります。その分、危険なこともあります。交通事故、交友関係、非行等、健全な生活が送れない入り口もあります。そこで、冬休みは子どもの一番身近にいるのがお父さん、お母さんです。子どもの近くにおいて「目を離しても心は離すな」（小さな子どもには目も心も離さないで）を心がけてください。それぞれのご家庭で子どもの見守りをしっかりお願いします。

冬休みを有意義に過ごすために、次のことについて話し合っておくとよいでしょう。

- 1 早寝・早起きの実践
- 2 計画的な学習活動
- 3 スポ少や部活動への参加
- 4 積極的な読書活動

どうぞ、子どもにとって思い出に残る良い冬休みになるよう、ご支援をお願いします。

問合せ先：防府市教育委員会生涯学習課 青少年育成センター（23-3013）